

全国小中学生

“紙リサイクル”コンテスト

2015

《主催》：公益財団法人古紙再生促進センター

《後援》：文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、

全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、

読売新聞社、段ボールリサイクル協議会、

全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会

《協力》：教育新聞社

入賞者一覧

【金賞】

応募総数：1,283 点（応募校数：76 校）

部門		都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	宮城県	仙台市立西山小学校	4	伊藤 大地	大切なリサイクル
	中学生部門	宮城県	宮崎県立宮崎西高等学校 附属中学校	2	柳田 侑香里	はじめのリサイクル
ポスター	小学生低学年部門	広島県	広島市立井口小学校	2	岡村 優香	きちんと分けてリサイクル
	小学生高学年部門	愛知県	岡崎市立広幡小学校	6	市川 悟也	まもりたい 木からうまれる しげんたち
	中学生部門	秋田県	にかほ市立象潟中学校	1	長内 滯里	これから紙技(神技)をお見せします

【特別賞】

部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	青森県	八戸市立小中野小学校	5	鹿島 百花	紙リサイクルで森を守ろう
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	4	飯嶋 純花	紙と森のリサイクル
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	東京都	練馬区立豊玉中学校	2	清水 唯梨華	日本の資源を守るため

【銀賞】

部門		都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	宮城県	仙台市立西山小学校	4	高田 萌衣	広がれ！資源回収
	中学生部門	福岡県	北九州市立石峯中学校	1	山口 愛梨	限りある資源を大切に
ポスター	小学生低学年部門	神奈川県	相模原市立清新小学校	1	江澤 賢幸	もやさないで！ 紙はリサイクルへ
	小学生高学年部門	佐賀県	有田町立有田中部小学校	5	鷹巣 凌	紙リサイクル
	中学生部門	宮城県	宮崎県立宮崎西高等学校 附属中学校	1	河野 晃拓	大切な紙資源 “捨てる前に考えて！”

【佳作】

部門		都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	4	永井 祐衣	大切なリサイクル
		神奈川県	横須賀市立山崎小学校	1	青木 圭一郎	紙はうまれかわる
	中学生部門	千葉県	八千代松陰中学校	2	宇恵野 岬	紙管でリサイクルする方法
		福岡県	九州国際大学附属中学校	1	福原 隼平	雑古紙回収について
ポスター	小学生低学年部門	岡山県	新見市立新砥小学校	1	藤本 奈々	ぎゅうにゆうパックをリサイクルしよう！
		岡山県	新見市立新砥小学校	1	田村 幸寛	かみをすてないで
	小学生高学年部門	埼玉県	川越市立高階北小学校	6	中村 実葉	まぜれば「ごみ」分ければ「資源」 きちんとリサイクル
	中学生部門	愛知県	岡崎市立葵中学校	2	市川 菜月	きみがため 千年前より 紙リサイクル
		佐賀県	大町町立大町中学校	3	山下 玲奈	紙は生まれ変わる

作文小学生部門 金賞

仙台市立西山小学校4年

伊藤 大地

「大切なリサイクル」

ぼくの家の地いきの子ども会では、毎月第一日曜日に資源回収をしています。

八時四十分になると、回収トラックが、「おはようございます。鶴ヶ谷七丁目南子ども会です。今日は、資源回収の日です。ご協力おねがいます。」と、子どもたちの声で放送を流します。すると、地いきの人達が、資源をゴミ集積所へ運びます。九時になったら子ども会の保母さんが車で集めて回ります。そして、公園で待ってるトラックのところへ運びます。そこで、子ども達やお母さん達が車から資源をおろして、手渡してリレーでトラックの中へ入れます。とてもたいへんな作業です。サッカーと同じく、チームワークが大切です。

全て終わるのに一時間以上かかります。それは、ここの地いきの人たちが、リサイクルの意識が高く、資源の量が多いからです。

子ども会では、資源をたくさん出してもらえるように、工夫をしています。お年よりがすぐ出せるように、自たくのの前でも、回収しています。そのほかにも、チラシと、ごみぶくろを配って、さん加をお願いしています。

ぼくの家では、牛にゆうパックを広げてかわかしています。新聞紙や広告紙をいっしょにまとめま

す。小さなガムの包み紙やトイレトーパーのしん、おかしの箱などのざつ紙は、紙ぶくろに入れます。その他、ざつしやマンガ本などをまとめます。ダンボールはガムテープを取って開いてからまとめます。ざつ紙をまとめる紙ぶくろを一階と二階の二カ所に置くと、すぐに、入れやすく集めやすいです。

社会見学で、松森清掃工場に行きました。そこには、大きいクレーンがあつて、もえるゴミをつかんで運びます。たくさんのゴミをもやすと、CO2がたくさんでて、地球の温だん化になるそうです。小さな紙でも、もえるゴミに出すのではなく、ざつ紙として分別することが大切だと思いました。

ぼくは、サッカーのチームに入っていて、資源回収は、あまり行けません。リサイクルの大切さが分かり、とても地球を大事に、守りたいと思いました。家のリサイクルも、ほとんどお母さんがしているので、今度からは、お母さんといっしょに、ぼくもリサイクルをがんばりたいと思いました。

みなさん、身近なことからリサイクルを始めてみませんか。

作文中学生部門 金賞

宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 2年

柳田 侑香里

「はじめのリサイクル」

私の祖母は、昔、リサイクルがまだ普及していなかったころに自分から「リサイクル」という活動をはじめ、県から表彰されています。

私が祖母の家に飾ってある賞状を見つけたので、聞いてみると、当時のリサイクルのことなどを、くわしく教えてくれました。当時は全くといっていいほどゴミを分別しなかったそうです。そこで祖母は、分別はするべきだと思って、仲間といっしょに、はじめたそうです。しかし最初は何もない状態から始めたから、分別するためのゴミ箱みたいなものもなかったそうです。だから大きなタンクみたいなものを準備したりしたそうです。分別するだけでも大変なのに、全くなにもない状態からはじめて準備までするのはとても大変だったと思います。ボランティアでここまでできるのはすごいと思いました。私は小さいころから今までずっと母にゴミの分別について、しつこいほど言われてきました。ダンボールや箱、紙、雑誌などすべてきびしく、しっかりと分別して来ました。そんな母を育てることのできた祖母はすごいなあと思いました。私も、そのおかげでしっかりと分別できるようになったので、ボランティアではじめから準備までしている状態でよくここまでこれたなあと思って、とても尊敬しています。

今、私たちが普段よく生活で使っている、「トイレトペーパー」や「新聞」、宿題などでよく使う「ザラ紙」もすべて、一度ゴミとなったものを分別し、リサイクルしたものです。何回聞いても、リサイクルはすばらしいと思いました。

「ざら紙」は、学校でも家でもとてもたくさん使います。なので、無駄なくゴミとなったすべての「ざら紙」をリサイクルして、使えるようにできたらいいと思います。今、私たちの使っている「紙」の全てがリサイクルできて変身します。それは、とてもすごい、人間の技術だと思います。しかし、やるのは人間だけど、やるかどうかを決めるのも人間だから、祖母のボランティアで分別リサイクルをはじめた気持ちを忘れずに、これからもしっかりとやっていきたいです。

ポスター小学生低学年部門 金賞

広島市立井口小学校 2年

岡村 優香

「きちんと分けて

リサイクル」



ポスター小学生高学年部門 金賞

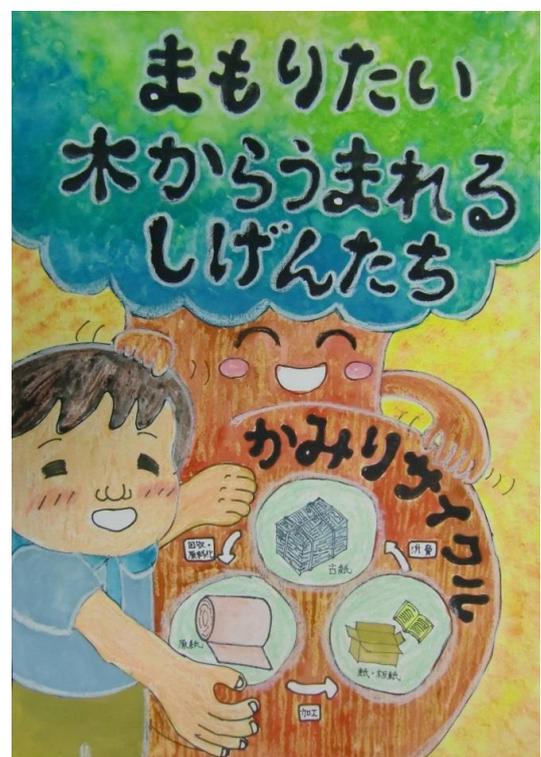
岡崎市立広幡小学校 6年

市川 悟也

「まもりたい 木からうまれる しげんたち」

世界の森林は人口増加による使用量の変化にともないぼっさいや森林火災などとても早い早さで減少し、森の木の成長がそれに追いつけないというのを読みました。

森には私たちが必要な空気や水を浄化させ、さらに日本の災害でよく起こる土砂崩れを防ぐ大切な役割があります。防災機能低下を防ぐためにも、紙リサイクルの重要性がよくわかりました。



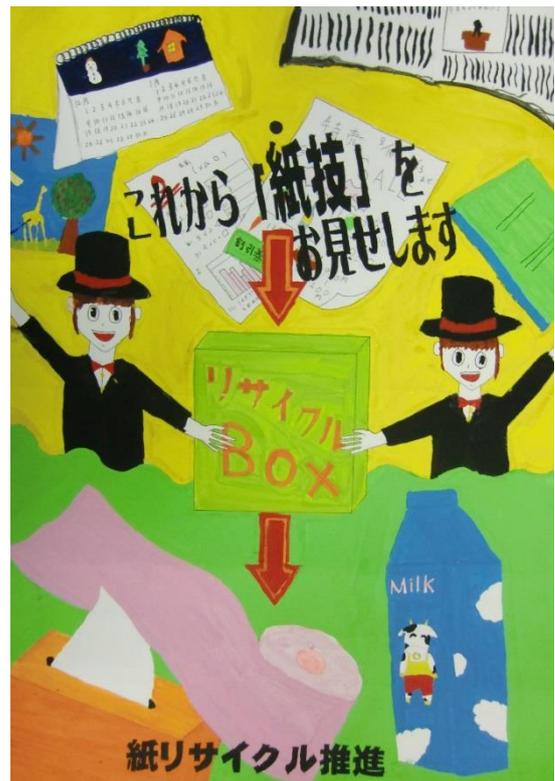
ポスター中学生部門 金賞

にかほ市立象潟中学校 1年

長内 滯里

「これから紙技(神技)を お見せします」

リサイクルでちゃんとした商品に
生まれかわるのでそれをマジックに
たとえた。



段ボールリサイクル協議会 会長賞

八戸市立小中野小学校 5年

鹿島 百花

「紙リサイクルで森を守ろう」

夏休みに小学校で雑紙回収チャレンジ
に取り組みました。おかしやティッシュ
の空き箱、トイレットペーパーやラップ
のしんなどを集めました。

紙は大切な資源です。

雑紙だけでなく、新聞、チラシ、ダン
ボール、牛乳パックを「資源の日」やス
ーパーの回収ボックスに出すと、またト
イレットペーパーやティッシュに生まれ
かわります。リサイクルで緑の森を未来
まで守りたいと思います。



荒川区立第三日暮里小学校4年

飯嶋 純花

「紙と森のリサイクル」

私は、紙と森のリサイクルについて書こうと思います。なぜなら、リサイクルは紙だけがやっていると思っていたけど、調べてみると、リサイクルは森もしている事を知り、とてもおどろいたからです。

学校にはリサイクルできる紙を集める箱があり、自分の家庭では、しげんとゴミを分けていました。でも、リサイクルは何のために役立っているかがわからなかったので、調べてみる事にしました。

まず、紙のリサイクルを調べました。紙のリサイクルでわかった事は四つあります。

一つ目は、古紙は大切なしげんだということですよ。古紙は分けずにしてしまうと、ゴミになるけど、きちんと分別すれば、しげんになります。新しい紙を作り出せて、ゴミもへらせるエコな取り組みだということがわかりました。

二つ目は、紙の原料で多いのは、「木材」ではなく「古紙」だという事です。日本で使われている紙の約六十パーセントが古紙だという事がわかりました。私は、木材のほうが多いと思っていたので、とてもおどろきました。

三つ目は、禁忌品のことです。紙のリサイクルはデリケートなので、紙以外のものがまざってしまうと、うまくリサイクルできなくなります。しかも、禁忌品といって、リサイクルできない紙もあるので、これから気をつけたいです。

四つ目は、古紙は種類によってリサイクルされるものがちがうことです。古紙は、新聞紙やぎっし・

牛にゆうパックなどがありますが、それらはノートやおかし・ケーキなどの箱・だんボール・トイレットペーパーなどになるということがわかりました。次に、森のリサイクルを調べました。森のリサイクルでわかった事は二つあります。

一つ目は、木をむだなく使っている事です。木の板や柱を作る時に出るあまった部分などもむだなく使っていて、細い木や曲がった木なども利用している事がわかりました。

二つ目は、木をきって森を育てているという事です。森は放っておくと、木と木の間にすきまがなくなって、太陽の光がちゃんとあたらなくなってしまいます。だから、よぶんな木は切って、しっかり手入れをしています。そうやって、木を上手に使うことで、森を守ることと地球温暖化の防止につながっているそうです。森はただ木を育てているだけではないんだと思いました。

リサイクルは、あまり役に立っていないと思っていましたが、ゴミをへらし、地球温暖化を防ぐなどの事にも役立っている事を知って、とてもおどろきました。

だから、これからも、学校でも家庭でもきちんとしげんになるものとゴミを分けて、地球のために役立てていきたいです。

そして、今度はもっといろいろなリサイクルの事を調べてみたいです。

日本再生資源事業協同組合連合会 会長賞

練馬区立豊玉中学校 2年

清水 唯梨華

「日本の資源を守るため」

「10のレシート資源にして」

この会話は家で一日一回は聞くものです。私の家ではプラや燃えるゴミ以外に資源専用のダンボールがあります。

紙は燃えるゴミに出せば燃えてなくなります。しかし、資源ゴミとして出すことでまた牛乳パックがトレットペーパー等に生まれかわり再利用することが出来るのです。

日本にはとても少ない資源しかありません。一番長くもつ資源でもせいぜい百年程が限度だといわれています。百年というと孫の代までもつのがどうかです。こう考えてみると、日本の資源はとても大切に使わなければならないことが分かります。

しかし現実には

「リサイクルの方法が分からない。」や、

「リサイクルするのが、めんどくさい。」等の声が沢山聞かれます。私も最近まではリサイクルの方法が分からない一人でした。

でも学校で資源の大切さを学んだら、とても貴重で大切なものだと実感できました。

それから、私は紙やトレットペーパーの芯、レシートなどは全て資源ゴミに出しています。家族も同様です。町会では資源ゴミを出すと出した分トレットペーパーに変わるということをやっています。

他にもペットボトルをプラゴミにせず、スーパに捨てることや、水を大切にするなど様々なことをしています。

資源は捨て方によって、皆の役に立つものと、もう使われなくなるものに変身します。少しでも多くの資源が再利用され、皆の役に立つものへ生まれ変わってほしいです。

これは人間に対することもそうですが、我々の住んでいる地球を守ることにも繋がります。

人間がこの先、生き延びていけるかは、現代を生きていく私達にかかっています。

今、私達が生きていられるのは、先祖の人々が少なくなりつつある資源を大切に無駄なく使ってくれたおかげでもあります。

先祖の人が受け継いでくれた資源というバトンを次の代、その次の代とずっと先まで受け継げるようにしていきたいです。

そのために今よりももっと資源を大切に使い、地球に人が生き延びていけるようにします。

このほかに一人一人の小さな努力が結果を生むと思います。「塵も積もれば山となる」という言葉を実現できるようにしたいです。

日本の資源を守るために一人一人の小さな努力を積み重ね、いつまでも人間が生きていけるようにしたいです。